

- ① 出身地
- ② 研究内容
- ③ 趣味
- ④ 好きな言葉



就任のご挨拶

藤田 直人 大学院医系科学研究科 保健学分野 生体環境適応科学 教授

- ① 兵庫県
- ② 運動、骨格筋代謝、肥満関連健康障害
- ③ 野球観戦
- ④ 準備を大切にす

2023年7月1日付けで、大学院医系科学研究科 生体環境適応科学の教授を拝命しました。1999年に甲南大学文学部を卒業後、理学療法士の免許を取得し、大阪や神戸での臨床勤務を経て、2010年、神戸大学 大学院医学系研究科にて博士の学位を取得いたしました。その後、神戸大学での勤務を経て、2013年に広島大学へ着任し、教育並びに研究に取り組んでまいりました。

理学療法士としての臨床にて、思い通りに回復が得られないケースなどから、リハビリテーションの難しさを度々経験しました。新規リハビリテーション治療を考える上で、各種の病態における運動の影響をマクロからマイクロレベルで検証する必要性を痛感し、研究の道を志しました。現在は、2型糖尿病などの肥満関連健康障害における運動の機序解明に取り組んでいます。今後とも、皆様方のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



就任のご挨拶

藤原 祐一郎 大学院医系科学研究科 医学分野 生理学及び生物物理学 教授

- ① 広島県
- ② 膜蛋白質の動作原理・構造機能相関研究、生体分子センサー
- ③ テレビ、ネットで卓球観戦、旨いものを作って食べる
- ④ 迷わず行けよ、行けばわかるさ

令和5年10月1日付けで、吉栖 正生名誉教授の後任として大学院医系科学研究科の教授に着任いたしました藤原 祐一郎と申します。11月より教室名を「生理学及び生物物理学」に改めました。私は平成13年に広島大学 医学部を卒業し、すぐに東京医科歯科大学大学院の生理学教室に進学しました。学位取得後、生理学研究所、米国UCSFに留学、大阪大学の生理学講座にて助教、准教授を経て、平成30年から香川大学にて生理学の教授を務め、この度、22年ぶりに広大に帰ってきました。

人体の生理機能はその部品である生体分子の機能的特性を反映します。私は、イオンチャネル・受容体・トランスポーター分子の動作原理を解明することを目標に、生物物理学的な手法を用いて研究を行っております。歴史ある当教室にて、将来の広島大学、日本の医学を支えてくれる強い基礎医学研究者を育成したいと願っております。皆様のご支援とご指導をよろしくお願いいたします。